



宮城県南三陸高等学校

自然科学部

宮城県本吉郡南三陸町志津川字廻館92-2

松原海岸における干潟環境の改善と生物相変化



松原海岸での生物調査

松原海岸には東日本大震災に伴う津波で干潟環境が形成され、住民の意向で守られた特別な干潟がある。2017年から調査が始まり、面積が狭いにも関わらず多様性が高い干潟と同等の種数が記録され、レッドリスト掲載種の割合は志津川湾を含む南三陸海岸の中で最も高い値を示し、希少な種の生息を支えている生物多様性の高い干潟であることがわかった。しかし、2019年、工事の設計ミスから干潟エリアの約3割が埋め立てられたが、松原海岸の干潟が志津川湾の生態系や地域にとっても重要な干潟であることから、干潟環境に配慮した設計に変更・改善された。この改善効果は、今後のモニタリング調査により確かめられると期待される。